

# 2017年3月期決算説明会資料

2017年6月12日



グラインディングマシン  
GNX300B



SPP800ATB  
バッチ式ウエーハポリシャ



ポリッシングマシン  
PNX332B

## I. 当社の概要、当社の特徴

---

## II. 2017年3月期 決算概況

---

## III. 2018年3月期 業績概要

---

## IV. 中期経営計画と進捗状況

---

# I

## 当社の概要、当社の特徴

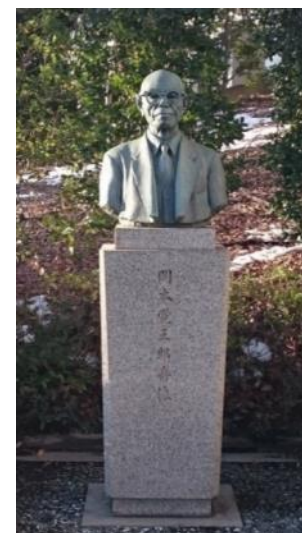
# ○ 世界唯一の総合砥粒加工機メーカー

## ≫ 会社概要

会社名 英文	株式会社 岡本工作機械製作所 Okamoto Machine Tool Works, Ltd.
創業	大正15年11月
設立	昭和10年6月
資本金	48億8051万円
代表者	代表取締役社長 石井 常路
本社所在地	〒379-0135 群馬県安中市郷原2993番地
事業内容	各種研削盤・半導体関連装置の製造・販売
従業員数	連結：1,781名 単体：368名 ※平成29年3月末現在
関連会社	岡本工機株式会社 技研株式会社 OKAMOTO CORPORATION(米国) OKAMOTO (SINGAPORE) PTE, LTD. (シンガポール) OKAMOTO (THAI) CO., LTD. (タイ) OKAMOTO MACHINE TOOL EUROPE GMBH(ドイツ)



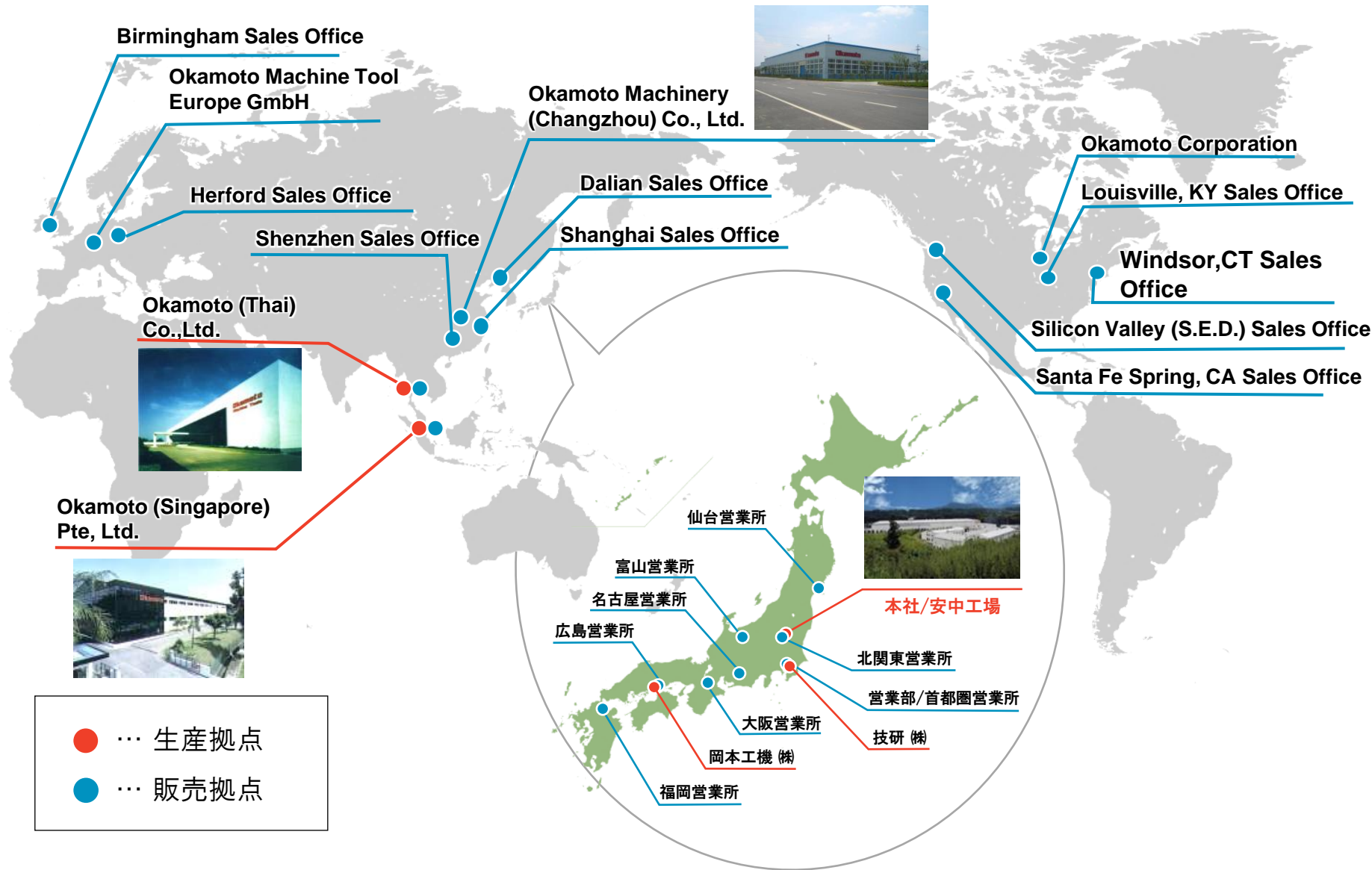
大正15年 (1926年)	岡本覚三郎が岡本専用工作機械製作所を創業
昭和5年 (1930年)	国産初の歯車研削盤 ASG-2型を完成
昭和10年 (1935年)	(株) 岡本工作機械製作所創立
昭和28年 (1953年)	国産初の平面研削盤PSG-6型完成
	
昭和30年 (1955年)	国産初の外周刃スライシングマシン PSG-3GE型を完成
昭和38年 (1963年)	東京証券取引所市場第二部上場
昭和43年 (1968年)	世界初のCNC成形研削盤 NFG-5型を完成
昭和47年 (1972年)	米国に、オカモト・コーポレーション設立
昭和48年 (1973年)	シンガポール工場完成
昭和57年 (1982年)	群馬県安中市に安中工場完成
昭和61年 (1986年)	タイ工場完成
平成4年 (1992年)	ドイツに、オカモト・ヨーロッパ設立
平成8年 (1996年)	半導体事業本部を設立
平成9年 (1997年)	全自動立型高精度平面研削盤の開発で日本機械学会 技術賞受賞 全自動高精度高能率CMP装置の開発で砥粒加工学会 技術賞受賞
平成12年 (2000年)	高精度成形研削盤 UPZシリーズを完成
平成13年 (2001年)	スキヤニングポリシャーGNX300Pを完成
平成14年 (2002年)	中国・上海に駐在員事務所開設
平成16年 (2004年)	超精密平面研削盤 UPGシリーズ発売開始
平成24年 (2012年)	本社を群馬県安中市(安中工場)に移転
平成28年 (2016年)	Si貫通電極ウエハー全自動化薄化装置 JST課題採択



創業者 岡本覚三郎



# ○ 国内拠点、海外拠点

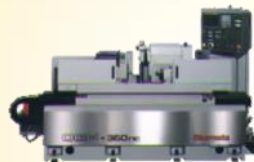




平面研削盤



門型研削盤



円筒研削盤



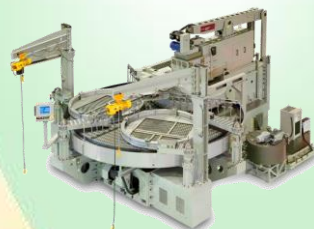
歯車研削盤



内面研削盤



9.6mピッチポリッシャー



5mラップ盤



スライサー



ラップ盤



ポリッシャー



グラインダー



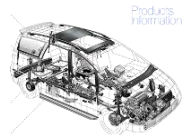
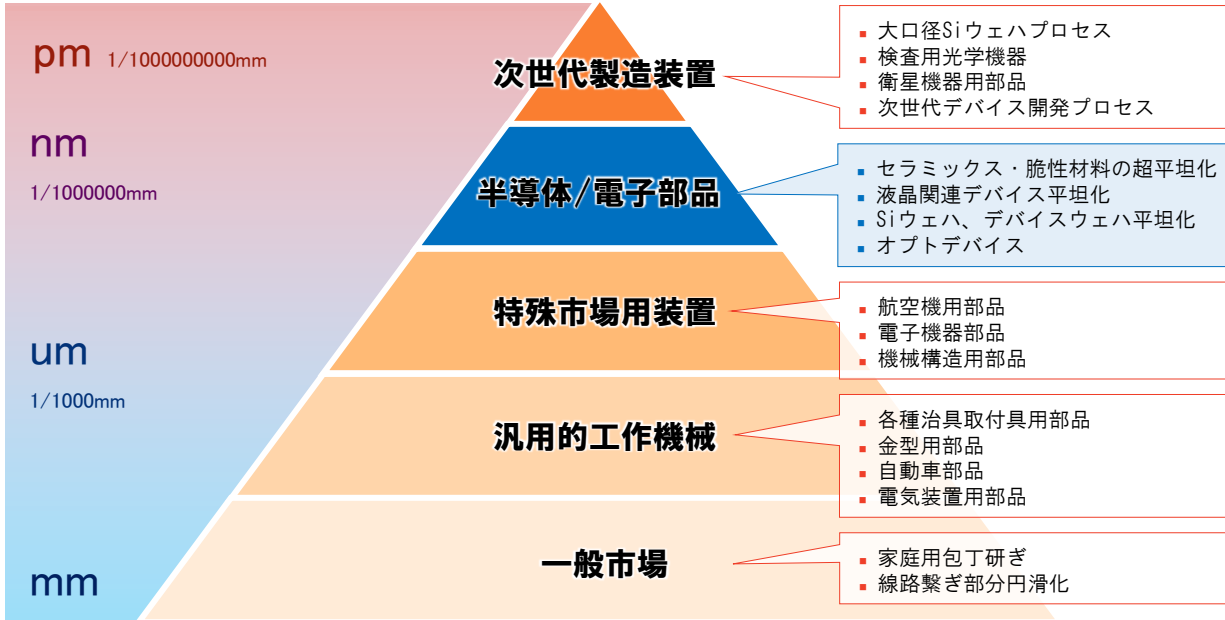
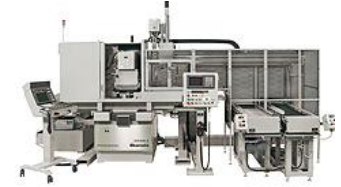
ファイナル  
ポリッシャー

金属加工機 = 工作機械

ピッチポリッシャー  
超大型ラップ盤

脆性材加工機 = 半導体製造装置

# ○ あらゆるニーズへの対応～ 豊富な機種構成





# ○ 平面研削盤のシェア ～ 幅広い顧客の広がり



**1953年生産開始以来60年**

- 出荷台数：総計50,000台以上
- 出荷国数：世界約80カ国
- ユーザー数：世界20,000社以上
- 国内推計シェア：40%

# 研削盤の機種別分類

700万円

2000万円

5000万円



PSG-CA1 シリーズ  
(高能率研削仕様)



スマートフォン  
時計・カメラ  
ロボット  
自動車  
他



UPZ-Li シリーズ  
(リニアモータ駆動)



液晶テレビ  
コンピュータ  
時計・カメラ  
自動車  
他



UGM360NC  
複合加工機



自動車  
船舶  
精密スピンドル  
工作機械  
他



UPG-NCシリーズ  
超精密大型研削盤



航空機  
液晶テレビ  
測定器  
工作機械  
他

# ○ 半導体製造装置の機種別分類: 主力製品

6000万円



GNX200B  
SiCウェーハ用グラインダー



次世代パワー半導体SiC  
電気自動車、電車、PC  
他

15000万円



GDM300  
ウェーハ薄化用  
インライングラインダー



スマートフォン  
PC  
他



PNX332B  
ファイナルポリッシャー



8"、12"Si 材料ウェーハ

23000万円



SPP800ATB  
バッチ式ウェーハポリッシャー



スマートフォン  
SAWフィルター

# ○ 半導体製造装置の機種別分類：関連製品

7000万円



SiSG156HT  
太陽電池インゴット複合研削盤



太陽電池・ソーラーパネル

20000万円



PSG-CHシリーズ  
門形平面研削盤



SPP3800  
ピッチポリッシャー



液晶(LCD)テレビ・ディスプレイ

# ○ 当社の5つの特徴

- 1 グローバルな販売網
- 2 タイ・シンガポール・アジアでの生産拠点の充実
- 3 一貫生産体制
- 4 伝統に裏打ちされた高い技術力
- 5 豊富な機種構成、幅広い客層、高い顧客対応力

# 1 グローバルな販売網

Okamoto Machine Tool Europe GmbH



Okamoto Machine Tool (Shanghai) Office



Okamoto (Thai) Company Ltd.

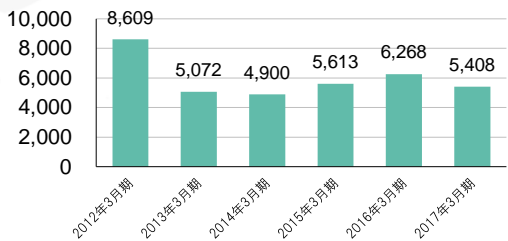
Okamoto (Singapore) Pte, Ltd.

Okamoto Corporation



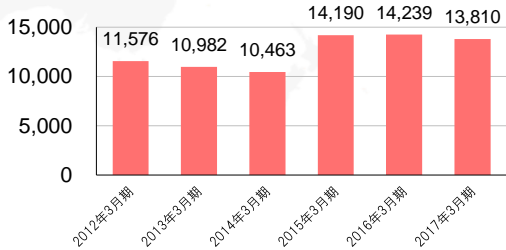
(単位:百万円)

アジア



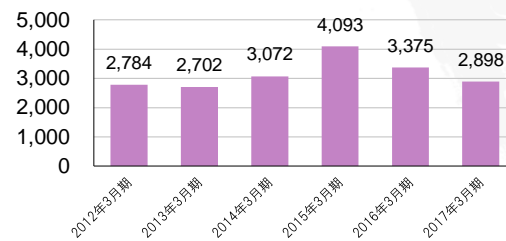
(単位:百万円)

日本



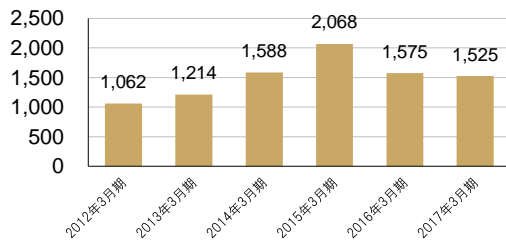
(単位:百万円)

北米



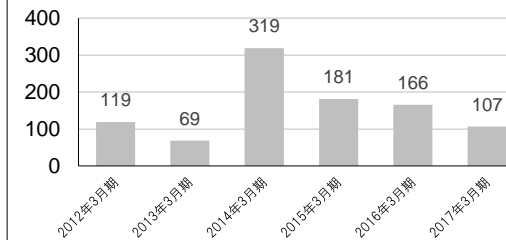
(単位:百万円)

欧州



(単位:百万円)

その他



## 2 タイ・シンガポール・アジアでの生産拠点



### OKAMOTO(SINGAPORE) PTE, LTD

10 Riverside Road, Singapore 739082, Republic of Singapore

TEL : 65-62696426

FAX : 65-62690832

<http://www.okamoto.com.sg/>



### OKAMOTO (THAI) COMPANY LTD.

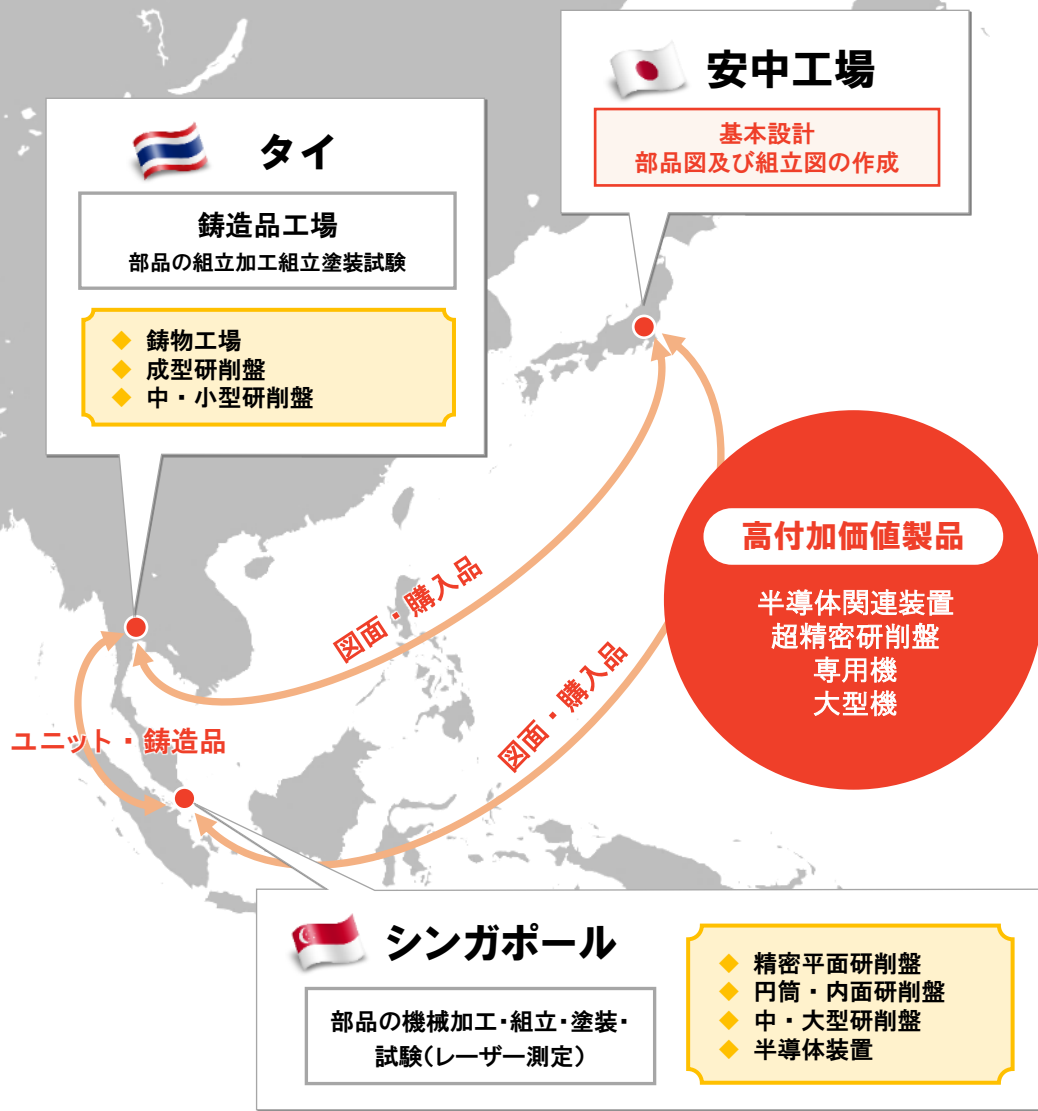
174 Mu 2, Tambol Chamaeb, Amphur Wangnoi, Ayudthaya 13170, Thailand

TEL : 66-35-271187 ~ 90 FAX : 66-35-271191

<http://www.okamotothai.com/>



# 3 一貫生産体制



## 安中工場



基幹工場  
(徹底した温度管理、クリーンルーム)

## シンガポール

精密加工機的设计・生産



## タイ

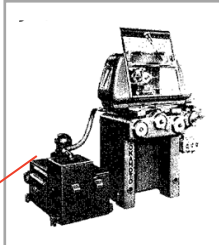
鑄物の生産、一般機の量産



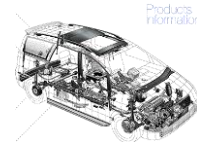
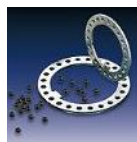
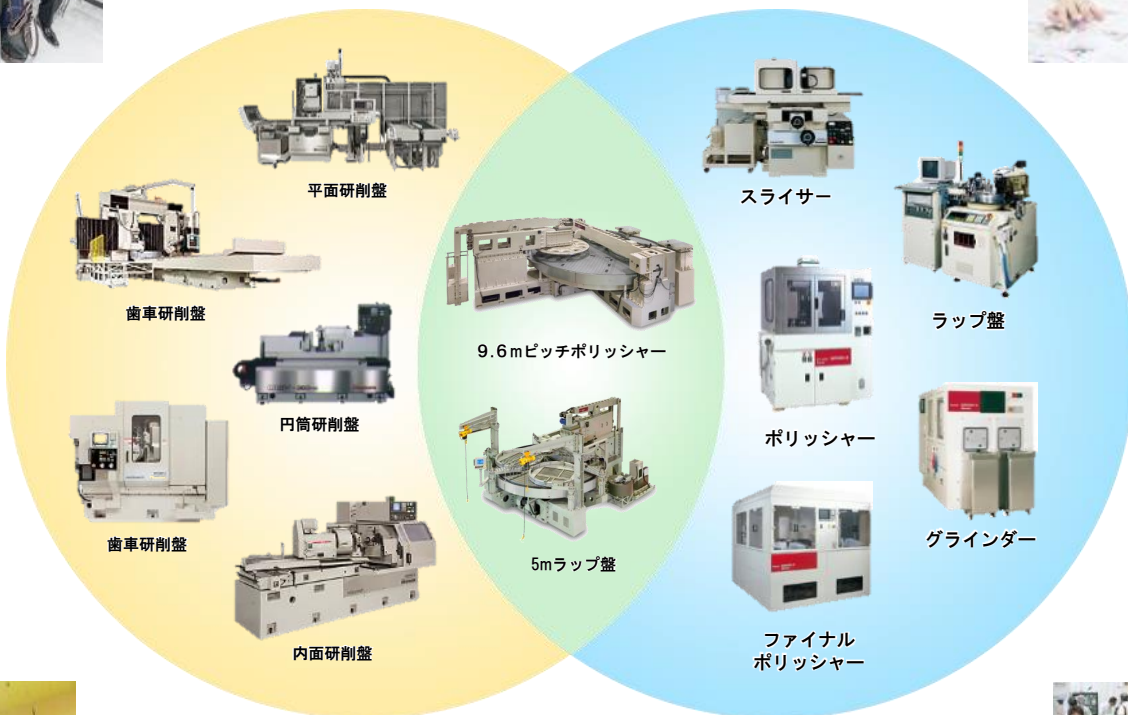


# 4 伝統に裏打ちされた高い技術力

大正15年 (1926年)	岡本覚三郎が岡本専用工作機械製作所を創業
昭和5年 (1930年)	国産初の歯車研削盤 ASG-2型を完成
昭和10年 (1935年)	(株) 岡本工作機械製作所創立
昭和28年 (1953年)	国産初の平面研削盤PSG-6型完成
昭和30年 (1955年)	国産初の外周刃スライディングマシン PSG-3GE型を完成
昭和38年 (1963年)	東京証券取引所市場第二部上場
昭和43年 (1968年)	世界初のCNC成形研削盤 NFG-5型を完成
昭和47年 (1972年)	米国に、オカモト・コーポレーション設立
昭和48年 (1973年)	シンガポール工場完成
昭和57年 (1982年)	群馬県安中市に安中工場完成
昭和61年 (1986年)	タイ工場完成
平成4年 (1992年)	ドイツに、オカモト・ヨーロッパ設立
平成8年 (1996年)	半導体事業本部を設立
平成9年 (1997年)	全自動立型高精度平面研削盤の開発で日本機械学会 技術賞受賞 全自動高精度高能率CMP装置の開発で砥粒加工学会 技術賞受賞
平成12年 (2000年)	高精度成形研削盤 UPZシリーズを完成
平成13年 (2001年)	スキヤニングポリシャーGNX300Pを完成
平成14年 (2002年)	中国・上海に駐在員事務所開設
平成16年 (2004年)	超精密平面研削盤 UPGシリーズ発売開始
平成24年 (2012年)	本社を群馬県安中市(安中工場)に移転
平成28年 (2016年)	Si貫通電極ウエハー全自動化薄化装置 JST課題採択



# 5 豊富な機種構成、幅広い顧客、高い顧客対応力



# II

## 2017年3月期決算概況

## 半導体関連と中国が好調

### 【国内市場】

- 政府による設備投資支援策継続が下支えとなるも設備投資には慎重な姿勢
- 半導体関連業界向け、工作機械業界向けに大型平面研削盤やCNC内面研削盤の販売増加。汎用タイプの平面研削盤は前年を下回る
- 半導体関連装置は需要好調。ウェハー生産用のファイナルポリッシャーなど販売

### 【海外市場】

- 北米は上期は低調も新政権期待から下期は航空機、自動車部品など堅調
- 欧州は政治リスクあるも堅調。汎用平面研削盤を中心に売上、受注とも好調
- アジア市場は中国で半導体関連好調。新拠点効果もあり、ウェハー生産用のポリッシャーやグラインダーなど販売。中国以外のアジアも回復の兆し

# 業績ハイライト

(単位:百万円、%)

	2016年3月	2017年3月	
	金額	金額	前期比増減率
売上高	25,625	23,749	-7.3%
売上総利益	7,457	7,085	-5.0%
販売費及び一般管理費	6,230	5,945	-4.6%
営業利益	1,226	1,139	-7.1%
経常利益	971	768	-20.9%
当期純利益	561	577	+2.9%

※小数点第2位を四捨五入

(単位:百万円)

	2016年3月	2017年3月
	金額	金額
設備投資額	1,456	960
減価償却費	1,234	1,158
研究開発費	62	106

為替レート	2016年3月	2017年3月
米ドル	120.16	108.72
シンガポールドル	86.72	78.39
ユーロ	132.53	118.68
タイバーツ	3.42	3.10
人民元	18.84	16.10

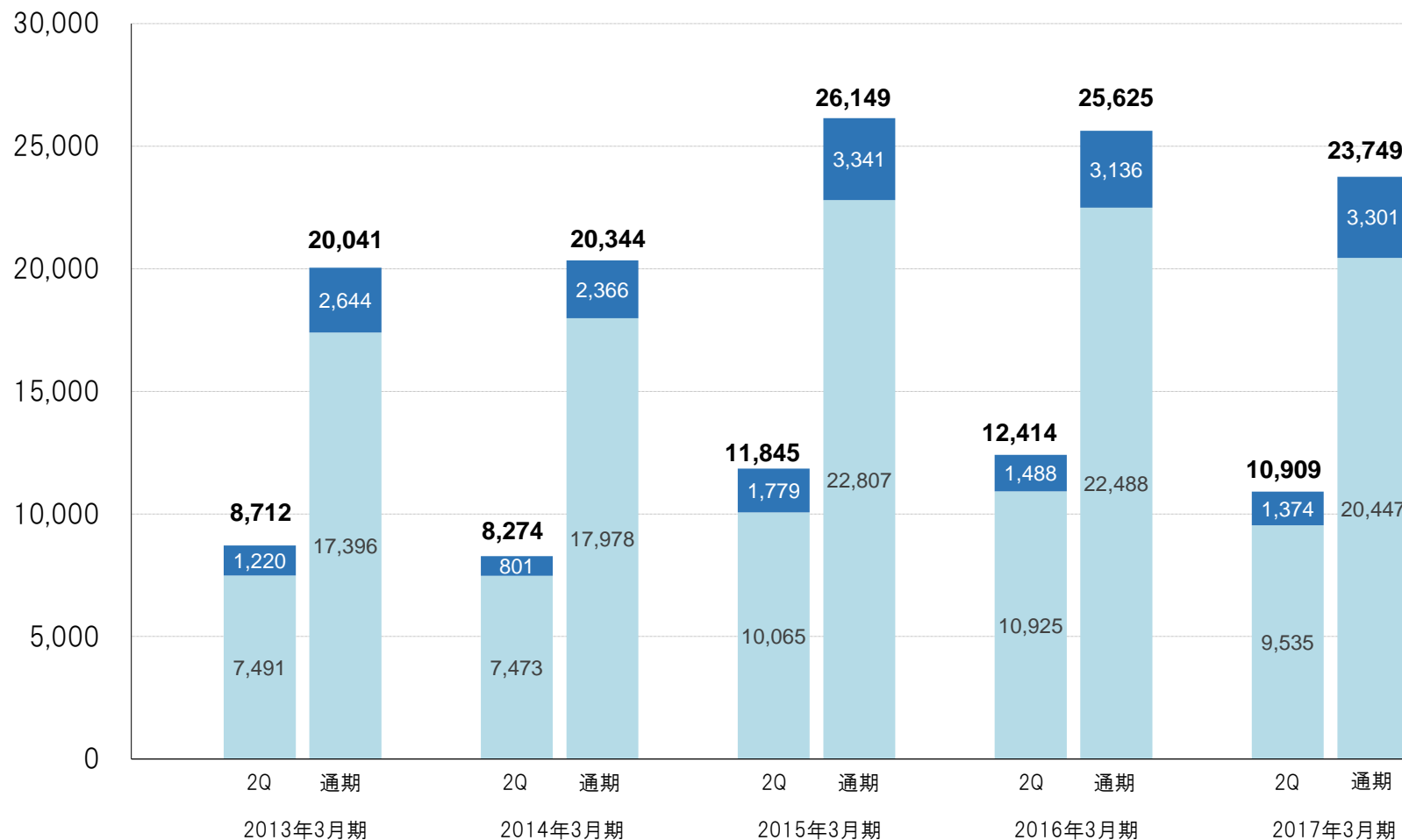
※期中の平均レートで記載しております。

- 前期比でも売上高は7.3%減少、営業利益、経常利益も減少したものの、当期利益はショールームの展示機械の販売等あり2.9%増加。
- 計画比では売上は減少したものの、主に固定費削減の効果で営業利益、経常利益、当期利益は計画を上回って推移
- 工作機械は設備投資に慎重な姿勢が見られ前年度を下回るも、歯車はロボット用が好調に推移。鋳物は低調。
- 半導体は回復基調が続き、中国を始め海外で設備投資堅調。

# セグメント別売上高推移

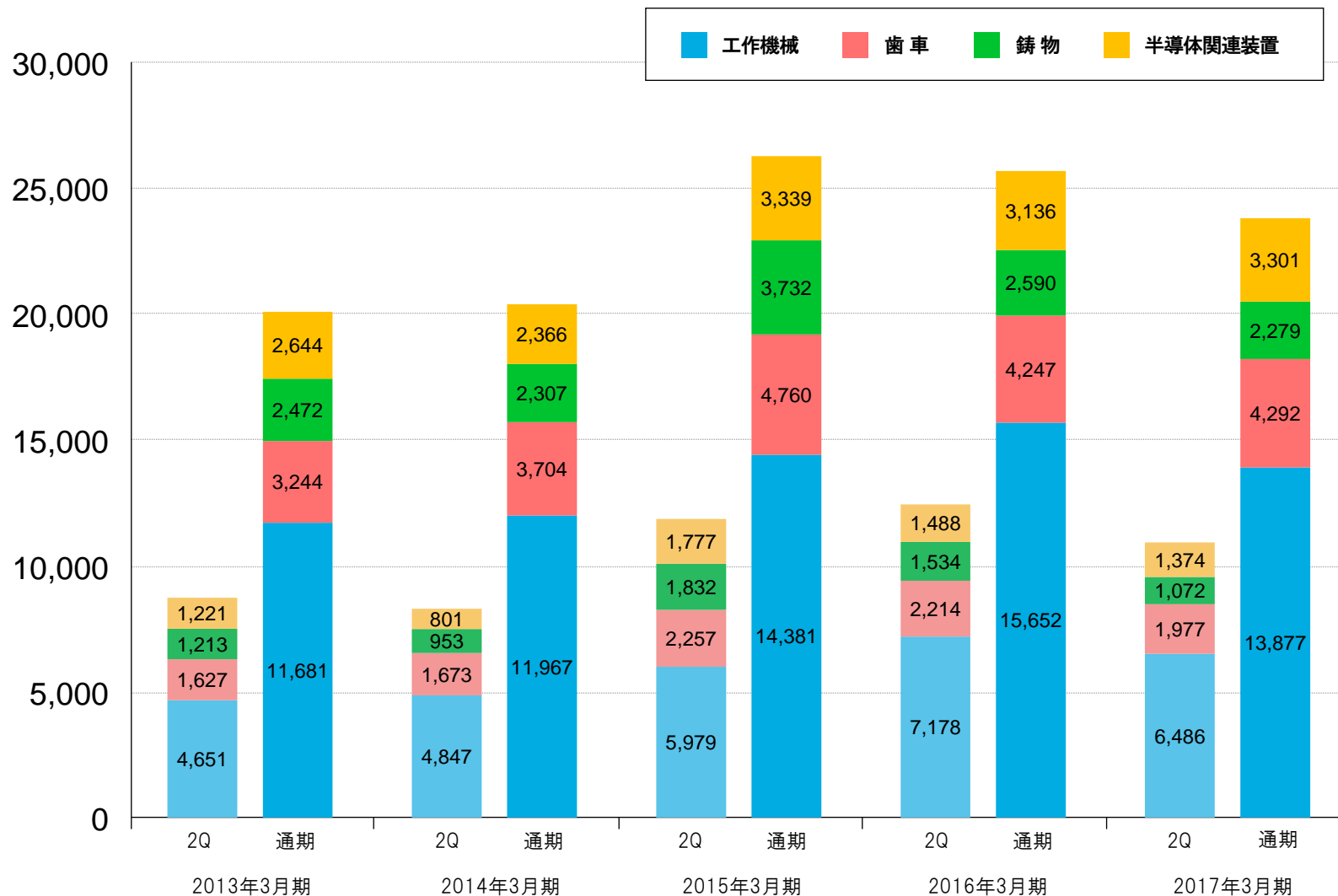
(単位:百万円)

■ 工作機械 ■ 半導体関連装置



# ○ セグメント別売上高推移②

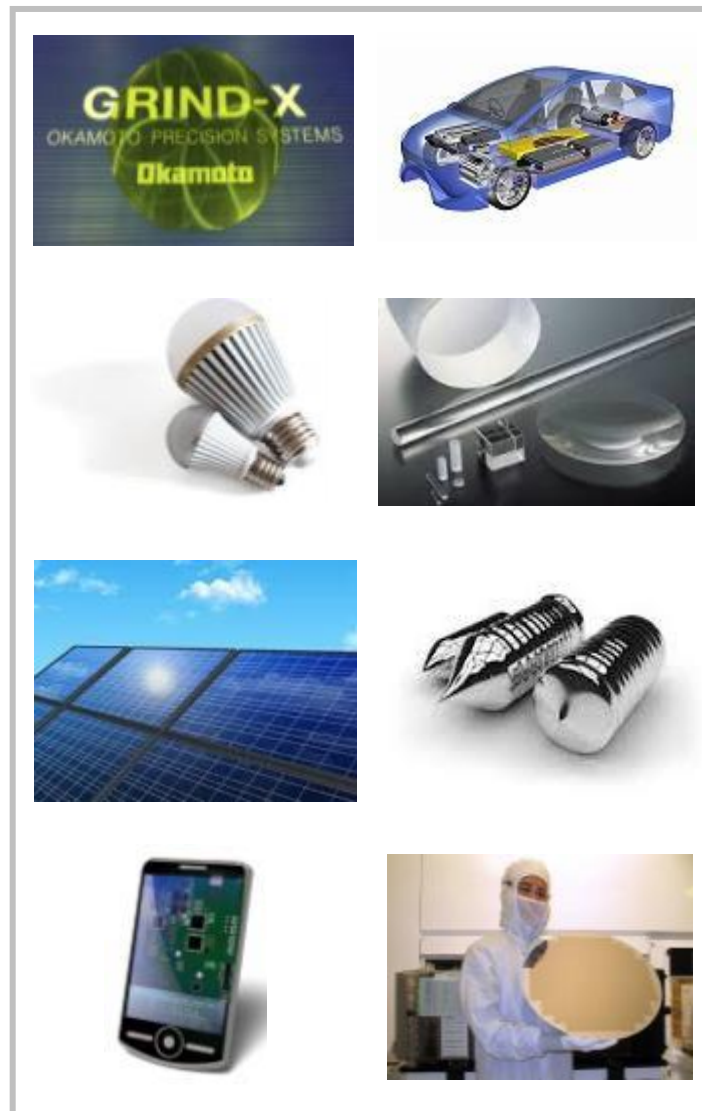
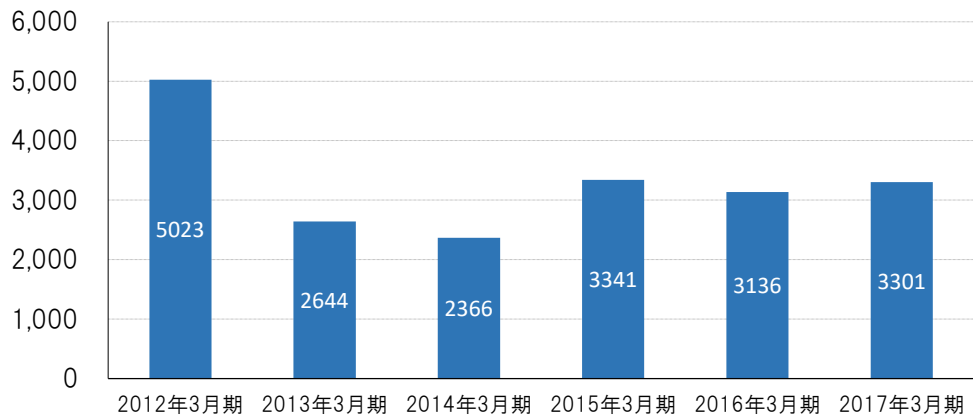
(単位:百万円)



# ○ 半導体製造装置事業の状況

## 売上高

(単位:百万円)





# ○ 最新の半導体製造装置の市況環境

## 【国内市場】

- 昨年後半からのDRAM・NANDメモリー需要増加に伴い、2017年もウェーハ材料の供給不足状況が継続。これにより国内のウェーハメーカーも本格的な設備投資を開始。弊社においても、特にポリッシュ盤を中心とした高額装置の受注が好調に推移。

## 【海外市場】

- 特に、国策として半導体事業を強化しようとしている中国市場が好調。メモリーの品不足状態に伴い、同市場の投資意欲をより一層に掻き立てる可能性により、更なる好況に期待。



SPP800ATB

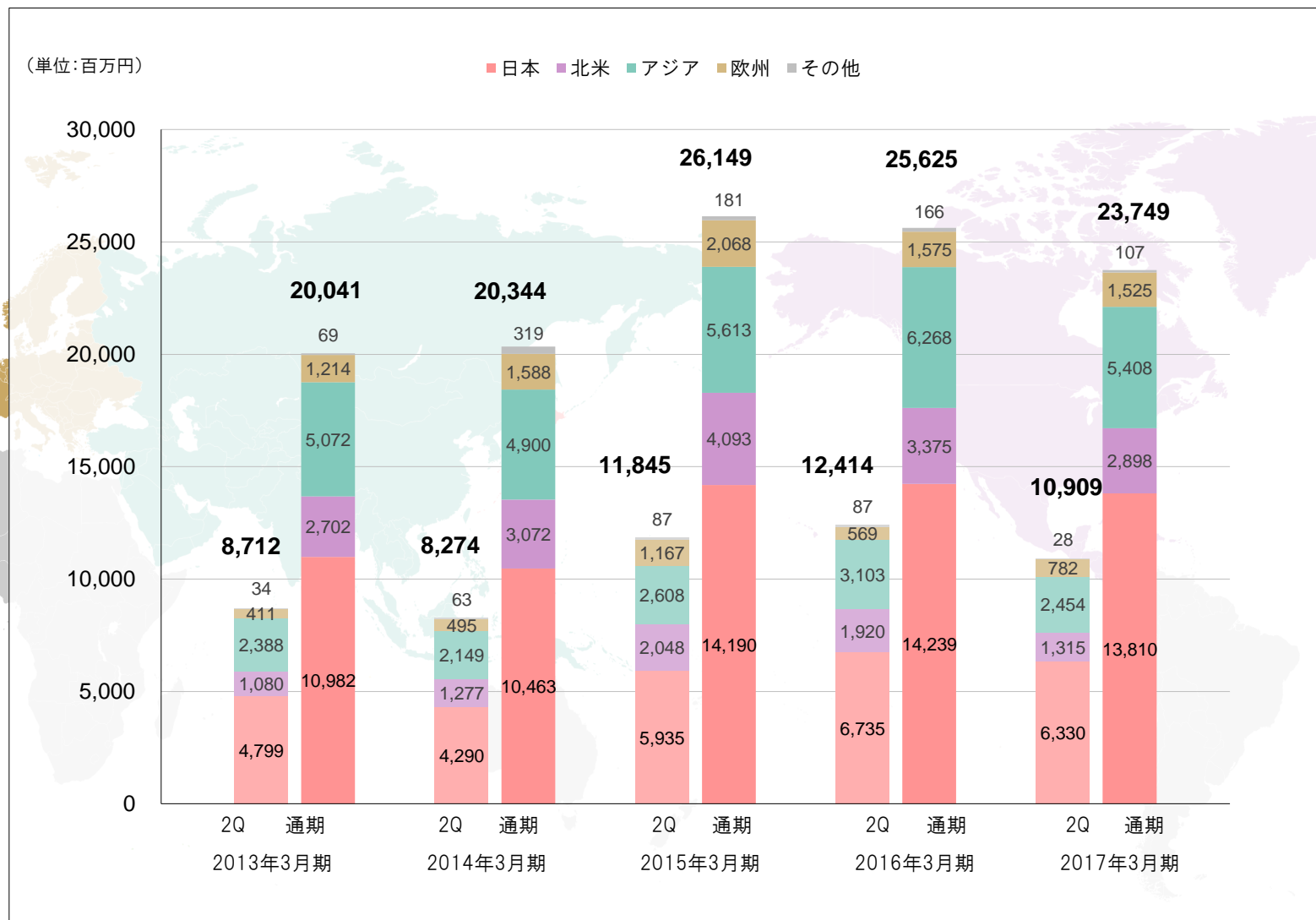


GNX300B



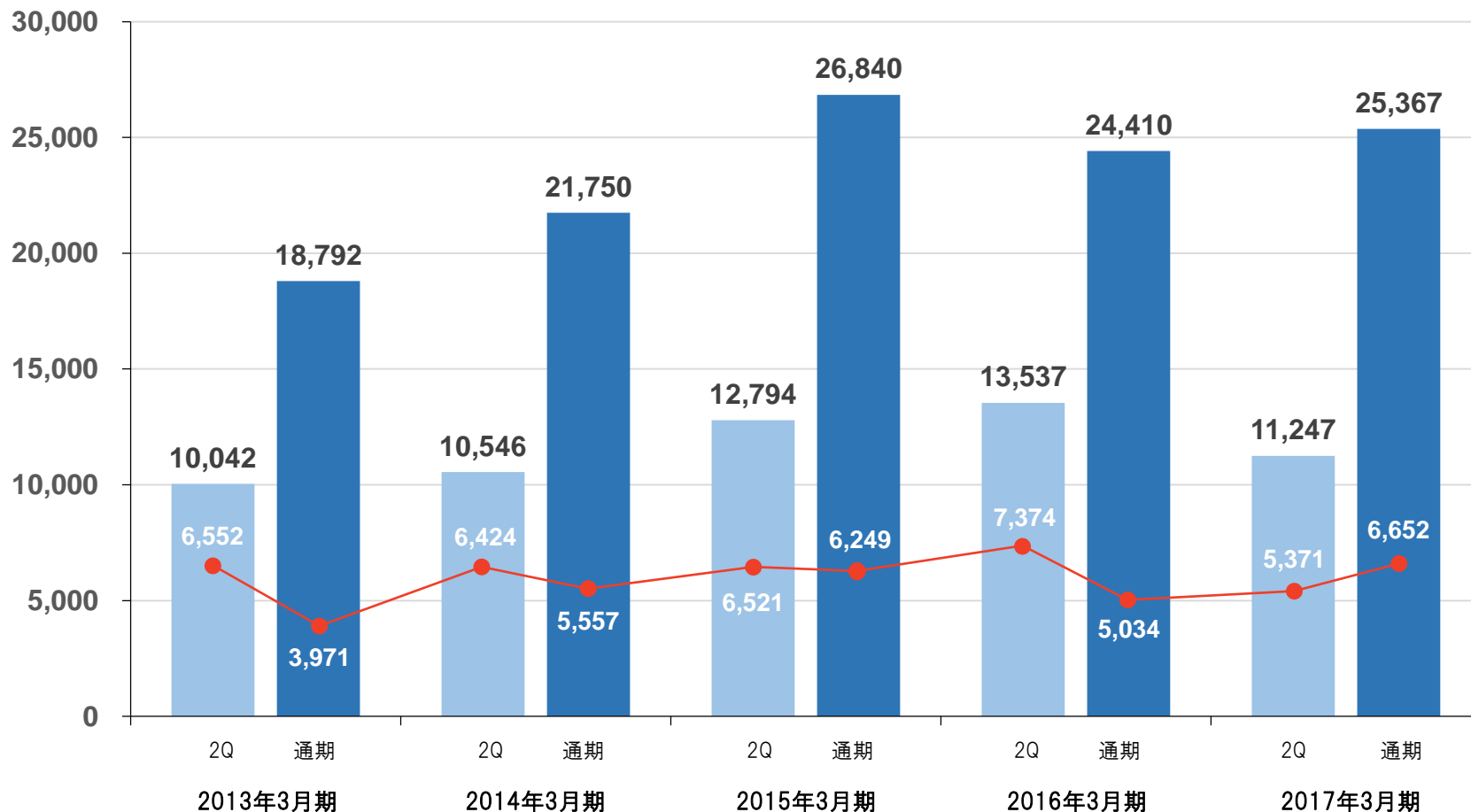
PNX332B

# ○ エリア別売上高推移



# ○ 受注・受注残高推移

(単位:百万円)



# ○ 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2016年3月	2017年3月	
	金額	金額	対前期末比
流動資産	18,055	18,233	+178
現金及び預金	3,961	3,699	▲262
受取手形及び売掛金	7,304	7,661	+357
棚卸資産	6,343	6,472	+129
有形・無形固定資産	9,165	9,630	+465
投資等	437	409	▲28
資産合計	27,658	28,273	+615

(単位:百万円)

	2016年3月	2017年3月	
	金額	金額	対前期末比
負債合計	18,618	18,803	+185
流動負債	14,030	13,793	▲237
固定負債	4,587	5,009	+422
純資産合計	9,039	9,470	+431
負債資本合計	27,658	28,273	+615

## <総資産(前期末比+615m)>

- 流動資産の増加 178m
- ・ 受取手形・売掛金の増加 357m
- ・ 現預金の減少 ▲262m
- 有形・無形固定資産の増加 465m
  - …省エネ設備改修+137m
  - 府中工場関連設備+380m

## <負債(前期末比+185m)>

- 借入金減少 ▲440m …(連結)調達/+6,378m⇒返済/▲6,796m

## <純資産(前期末比+431m)>

- 当期純利益 +577m、為替換算調整勘定 ▲26m
- 配当金の支払い ▲132m

# ○ 比較キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2016年3月		2017年3月	
	金額		金額	対前期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,064		1,181	▲883
税引前当期純利益	967		850	▲117
減価償却費	1,234		1,158	▲76
売上債権の増減 (▲は増加)	413		▲444	▲857
棚卸資産の増減 (▲は増加)	536		▲183	▲719
仕入債務の増減 (▲は減少)	▲431		61	492
その他	▲657		▲261	396
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,437		▲772	665
財務活動によるキャッシュ・フロー	784		▲631	▲1,415
換算差額	▲139		16	155
現金・同等物残高	3,510		3,305	▲205

- 現金・同等物は、前期末比▲205m減の3,305m
- 営業CF +1,181m
    - ・税引前当期純利益 +850m、減価償却費 +1,158m、売上債権の増加 ▲444m
  - 投資CF ▲772m
    - ・設備投資 ▲960m …… 引き続き岡本工機新工場関連の投資など
  - 財務CF ▲631m
    - ・借入金の減少 ▲418m

# III

## 2018年3月期 業績予想

# ○ 来期業績予想

## 増収増益を見込む

(単位:百万円、%)

	2017年3月	2018年3月	
	金額	金額	前期比増減率
売上高	23,749	28,000	+17.9%
売上総利益	7,085	8,500	+20.0%
販売費及び一般管理費	5,945	6,900	+16.0%
営業利益	1,139	1,600	+40.4%
経常利益	768	1,350	+75.7%
当期純利益	577	1,100	+90.5%

※小数点第2位を四捨五入

(単位:百万円)

	2017年3月	2018年3月 (予想)
	金額	金額
設備投資額	960	1,235
減価償却費	1,158	1,126
研究開発費	106	119

為替レート	2017年3月	2018年3月 (予想)
米ドル	108.72	112
シンガポールドル	78.39	79
ユーロ	118.68	120
タイバーツ	3.10	3.20
人民元	16.10	16.30

※期中の平均レートで記載しております。

# ○ 2018年3月期の市場環境見通し

## 【国内市場】

- 前期に比較し自動車、航空機、医療関連で工作機械の受注は増加を予想  
ロボット関連でロボット用歯車の受注増加を見込む

## 【海外市場】

- 北米は新政権の政策期待もあり、自動車、航空機関連を中心に底堅い動き
- 欧州は政治リスクはあるものの、底堅い動き
- アジアは回復傾向

## 【半導体】

- 好調だった半導体関連装置は更なる受注増加を予想  
特に昨年引き続き中国の受注増加に期待



# IV

## 中期経営計画と進捗状況

Mission GX2019

# ○ 中期経営計画施策 営業

セグメント	施策
工作機械	①海外販売の強化(北米、中国を戦略拠点に) ②新規開発機種重点販売 ③国内外の販売シェアの拡大
半導体	①ポリッシュ装置重点販売 ②次世代パワー半導体用SiC、GaN サファイア等の脆性材加工装置の拡販
工作機械(歯車)	①拡大するロボット、自動車市場への拡販 ⇒ 岡本工機 新工場立ち上げ
工作機械(鋳物)	①新規顧客の開拓



# ○ 具体的施策 海外販売の強化 今期進捗状況

## 特に中国で拡販が進行

### 米 国

- ◆ 大型機をショールームに常設し、常時デモ、テスト研削ができる体制へ。販売も順調に推移
- ◆ 米国5拠点目になる北東部コネチカット州に4月3日事務所開設済み
- ◆ アプリケーションの充実で小型CNC成形研削盤販売が順調に推移

### 中 国

- ◆ 小型成形研削盤の生産を開始
- ◆ 高付加価値機としてNC機をショールームに常設。テスト研削可能に
- ◆ 大型機も知名度が上がり、販売も順調に推移
- ◆ 自動化需要であるロボット部品の特殊部品加工で認知度が上がり、拡販予定
- ◆ 今後拠点増設予定地より、営業部員を採用し教育中

# ○ 具体的施策 戦略機種への投入

## 複合研削盤、サドル型、コラム型新シリーズの投入進む

### ≫ 複合研削盤(円筒研削盤ベース)

シリーズ化も完了し、販売スタート



### ≫ サドル型平面研削盤の新シリーズ

次期主力機種となる PSG-SA1シリーズ完成し、販売スタート



### ≫ 大型平面研削盤のコストダウン機

シリーズ化も完了し、需要業種へ積極PR開始中



# ○ 中期経営計画施策 技術・生産

## 施策

1. 品質向上
2. 平準化
3. サービス体制の強化
4. コストダウン
5. 効率化



## 具体的施策

- ◆ QCD改善活動を通じ変動費を削減する
- ◆ 規格・モジュール化推進による品質の向上とコストダウン
- ◆ 3D CAD化推進による設計効率化と品質の向上
- ◆ 集中サービスセンターによるパーツ即納体制を確立
- ◆ 歯車生産のライン化、自動化による、品質安定、効率化
- ◆ 管理系システム再構築による効率化、品質向上

## QCD改善活動によるコスト抑制進展

### 1. QCD改善活動を通じた変動費の削減

Q(品質)、C(コスト)、D(納期)

・初期クレームの撲滅

118期目標:クレーム前期比20%削減⇒通期実績は16%

・資材調達機能強化(グローバル調達含む)

118期目標:5000万円削減 ⇒通期実績は目標を上回り達成

・平準化と生産性向上による内製化の推進

118期目標:前期比8%の内製金額増加⇒通期実績は目標を上回り達成

QCD改善活動全施策による通期変動費削減実績は、目標を上回り達成

# ○ 中期事業計画の骨子 ～ 技術・生産 進捗状況②

## モジュール化、3D CAD化などの推進も順調に進捗

### 2. 規格・モジュール化推進による品質の向上とコストダウン

- ・社内標準規格を見直し、適時最新アップデートを行えるデータシステムの構築
- ・主要平面研削盤シリーズCA、CHシリーズにおいて、ユニットモジュールを使うことで構造の選択を容易にし、後工程を簡素化できる設計スタイルを構築

### 3. 3D CAD化推進による設計効率と品質の向上

- ・旧2D画面から3Dへの推進プロジェクトを実行中
- ・3D解析ソフトによる効率化設計の適用

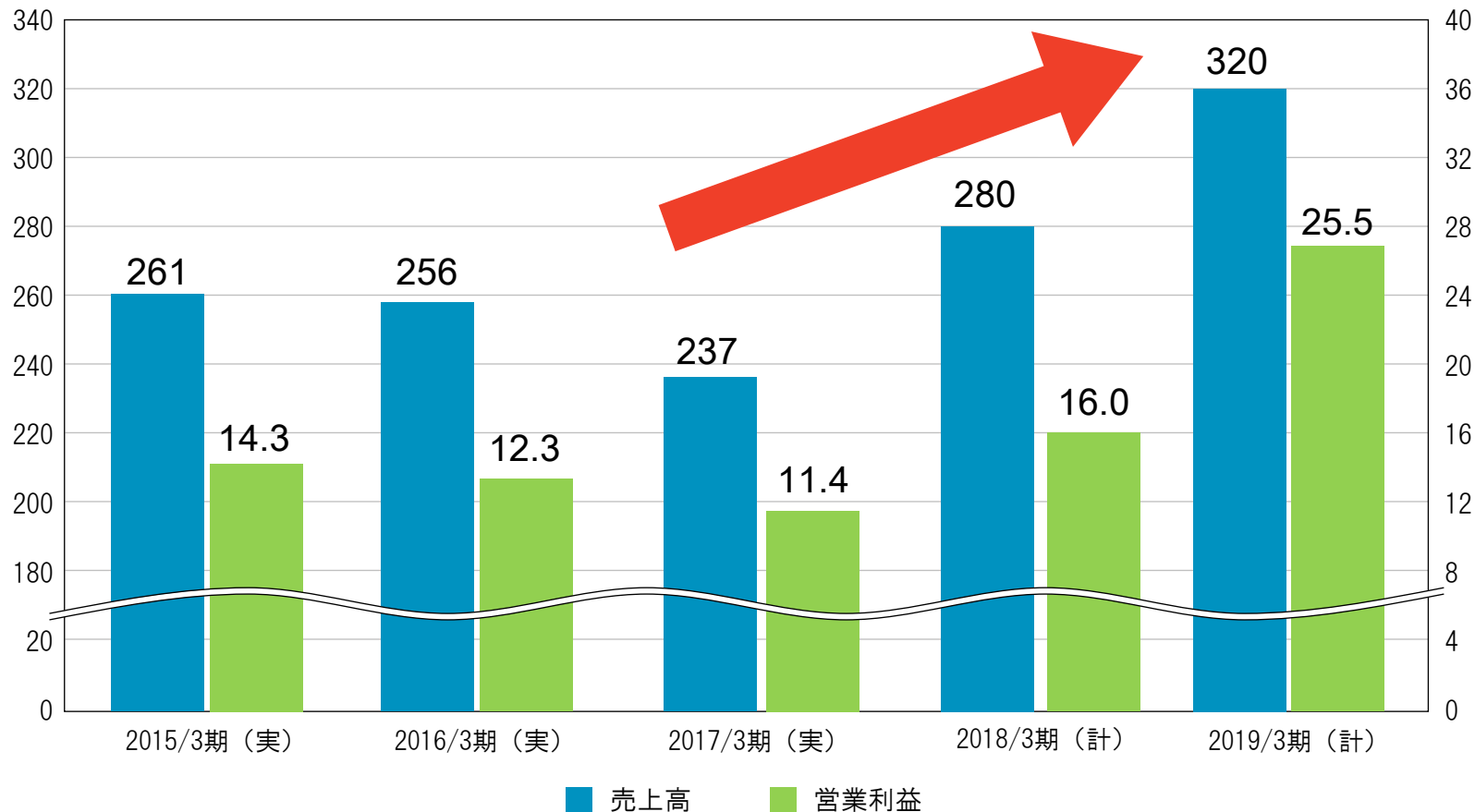
### 4. 集中サービスセンターによるパーツ即納体制を確立

- ・パーツのストア化促進とインフラ整備及びサービス員増員とローテーション実施

# ○ 中期目標

売上高 億円

営業利益 億円




営業利益率目標 8%

海外売上高比率 60%



究極の  
平面創成



**Okamoto**

# Okamoto

株式会社岡本工作機械製作所

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 岡本工作機械製作所  
総務部  
TEL 027(385)5800

## 【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料は、株式会社岡本工作機械製作所(以下、当社)をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。